

令和 8 年度 淡路島総合観光戦略（2023～2027年度）アクションプラン

資料2-2

基本戦略（サステナブル戦略）：「島内外から支持される観光地」をめざし、環境保全に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
◆持続可能な取組に配慮した観光地域づくりを推進するための意識啓発と取組の推進 ◆環境保全活動と観光を関連付けた取組の推進 ◆観光事業者だけではなく、島内各産業や住民に経済波及効果を与える「域内調達率UP」の推進 ◆観光を支える人財（外国人労働者、セカンドキャリアを求める者等）の確保と観光人財の満足度（ES）の向上 ◆年間の観光需要の平準化、平日の観光需要の喚起	○事業者や施設におけるSDGsに配慮した取組の公表などの見える化の促進	SDG s 推進宣言事業への参画	・ひょうご産業活性化センターが実施するSDGs推進宣言の事業を活用し、当該事業への登録等を促進する。	観光協会、島内商工会議所・商工会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	淡路県民局から、観光協会、商工会議所及び商工会に対し、各会員へのSDGs推進宣言事業の活用を働きかける。			B 4
				観光協会	観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 4
	○世界遺産登録をめざす鳴門海峡の渦潮の環境保全活動と観光が連携した取組の推進	【3海峡クリーンアップ大作戦の活用】 3海峡クリーンアップ大作戦への参加	・渦潮世界遺産登録運動にて実施している3海峡クリーンアップ大作戦の参加を、観光協会職員及び会員事業所にも呼びかける。	観光協会	観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 4
		【3海峡クリーンアップ大作戦の活用】 3海峡クリーンアップ大作戦（又はその他の観光地クリーンアップ施策）の旅行商品化	・3海峡クリーンアップ大作戦に観光客も参加できる仕組みもしくは観光客参加型の旅行商品を造成する。 ・宿泊・観光施設と連携したインセンティブの付与や観光客が参加しやすい環境を整備する。	観光協会	県、3市、3海峡クリーンアップ大作戦実行委員会、観光協会会員、各旅行会社	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			A 1 0
		さんぽDEゴミ拾い（うみぞら映画祭で実施中）の3海峡拡大	・うみぞら映画祭時に実施している「さんぽDEゴミ拾い」を、3海峡での実施に拡大検討を依頼する。 ・当施策に合わせて道の駅や主要交通拠点、集客施設などにおけるゴミ回収BOXの設置場所の調整を実施する。	観光協会	実行委員会、施設管理者、県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 4
	○持続可能な取組につながるコンテンツの開発（先進事例の研究と実践方法の検討）	JSTS-Dのガイドラインを活用した評価指標の設定と推進	・淡路島総合観光戦略とJSTS-Dのガイドラインが合致する項目を抽出する。 ・現状分析とあわせて、推進状況を自己分析するツールとしてJSTS-Dを活用する。	観光協会、県、3市	観光協会会員	準備	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	JSTS-Dのうちから淡路島総合観光戦略の推進に喫緊なガイドライン項目を抽出した項目をアクションプランごとに対応させ、取組の評価を行い、次年度の施策の立案に活用する。また、自己評価について、より客観性を持たせる方針・基準を検討する。			A 1
		【SDG s コンテンツの活用】 ステップ1：淡路島ならではの豊富なコンテンツを生かしたSDGsコンテンツの可能性の洗い出し	・島内に散在するSDG s コンテンツの洗い出しを実施する。 【例】 ・漂着物の多い海岸の流木をキャンプ場の焚火に活用 ・経産牛を延長飼育し、肉牛として再利用 ・廃棄される網にかかった小魚の活用 ・たまねぎの皮の再利用	観光協会	3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	潜在するSDGsコンテンツの掘り起こし、プラン化したコンテンツの磨き上げを事業者とともに実施	○		A 1 0
		【SDG s コンテンツの活用】 ステップ2：洗い出したSDGsコンテンツの有効活用	・洗い出したSDG s コンテンツをもとに、HPIにおける情報発信や、着地型体験コンテンツ・宿泊施設におけるオプションプランとの組み合わせなど、観光協会HPからも予約販売できるようにするなど有効活用を図る。	観光協会	関連事業者	研究検討	準備	実施	実施	実施	観光協会	・観光協会HP掲載をはじめ、多言語化し海外OTAサイトへの掲載 ・各宿泊施設HPへのリンク掲載も進める	○		A 1 0
		リジェネラティブツーリズムの推進（クリーンアップ活動等の観光コンテンツ化）	・現在、地域で取り組んでいる環境に良い影響を与える活動に、観光客も参加することで、旅の満足度を高める。	活動団体、観光事業者	南あわじ市	準備	実施	実施	実施	実施	南あわじ市 商工観光課	3 海峡クリーンアップ大作戦等の清掃活動に観光客が参加できるよう働きかける。	○		A 1 0 B 4
		観光分野におけるフードロス削減の取組	・飲食提供施設におけるフードロスの取組を、先進事例を学ぶことからはじめ、活動を全島に拡大する。	事業者		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 4
		大浜公園の利用促進	海水浴シーズン以外での公園利用を促進するため民間活力を生かしたイベント等を誘致する。	洲本市		実施	実施	実施	実施	実施	洲本市 商工観光課	概要と同じ		○	A 1 0 B 4

基本戦略（サステイナブル戦略）：「島内外から支持される観光地」をめざし、環境保全に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	－ D 項目
〇観光と地域おこしが連携した取組の推進（先進事例の研究と実践方法の検討）	地域再生アドバイザー派遣	・有識者による指導・助言等の支援を行うことで、来島者を惹きつける地域の価値を再発見し、住民主体の地域づくりを促進する。	県	3市、企業、町内会等地域団体	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（多自然地域づくり）	持続可能な生活圏形成に向けた地域の取組を促進するため、市と連携して各分野の専門家を派遣する。			B 4	
	地域×大学×企業の「ひょうご絆プロジェクト」	・地域と大学や企業が連携し、大学・企業の持つ資源の活用や学生等の外部人材との交流により誘客につながるにぎわいづくり等の活性化を促進する。	県	3市、大学、企業、町内会等地域団体	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（多自然地域づくり）	地域と大学・企業等が連携して取り組む、にぎわいづくり等の地域活性化活動に要する経費を支援する。			B 4	
	南あわじ市地域づくりチャレンジ事業	・地域づくり協議会が事業者等と連携し、地域課題の解決に向けて取り組む事業に対して支援を実施する。	南あわじ市	地域づくり協議会、自治会等のコミュニティ組織、企業、大学、NPO等	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市市民協働課	チャレンジ事業として、伊加利地区、沼島地区が継続事業として実施予定。			B 4	
	淡路市まちの魅力度アップ支援事業	・地域の課題解決の取組や交流促進事業等、地域住民が主体となり、まちの魅力度アップに取り組むことを目的とした事業を行う団体に対して支援を実施する。	淡路市	地域住民で構成する団体	実施	実施	実施	実施	実施	淡路市まちづくり政策課	地域住民が主体となり、まちの魅力度アップに取り組むことを目的とした事業を行う団体に対して引き続き支援する。			B 4	
	【地域おこし協力隊の活用】 ステップ1：地域おこし協力隊と連携した地域ブランドの明確化とアクションプランへの反映	・淡路島が向かう方向性を、地域を愛し深く考えるメンバーと定期的に協議を開始し、より正しい方向性に沿ったアクションプランに反映する。	観光協会	地域おこし協力隊、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	地域おこし協力隊OBも含め、情報共有や意見交換を続けていく			B 3 B 4	
	【地域おこし協力隊の活用】 ステップ2：地域おこし協力隊及び協力隊O Bとの連携によるコンテンツの開発	・上記のアクションプランに準じ、連携できる取組を着地型コンテンツとして観光協会HPから予約販売する。	観光協会	地域おこし協力隊、3市	準備	準備	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			A 1 0	
	〇地元食材等の域内調達の改善（域内事業者が仕入れできる仕組みづくり）	地元食材域内調達改善取組委員会（仮称）の設置と改善策の取組	・地元食材域内調達改善取組委員会（仮称）を立ち上げ、改善策と方法を検討し、地元食材等の域内調達を進める。	観光協会	県、3市、飲食・宿泊施設、JA、漁協、関連各事業者（水産加工会社など）	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 3
	〇あわじ環境未来島構想と連携した事業実施（教育旅行や視察旅行に適したプログラムの開発など）	【あわじ環境未来島構想の観光活用】 ステップ1：あわじ環境未来島構想の事業の中で、SDGsと観光に関するコンテンツの洗い出し	・あわじ環境未来島構想推進協議会と観光協会とで、洗い出しを実施する（旅行会社に参加してもらうことも検討）。	あわじ環境未来島構想推進協議会、観光協会	旅行会社	実施	実施	実施	－	検討	県民課（未来島）	2026年度は実施しない			B 4
		【あわじ環境未来島構想の観光活用】 ステップ2：あわじ環境未来島構想の観光プログラム化	・あわじ環境未来島構想が理解できる教育旅行、一般視察旅行それぞれに適したプログラムを他のコンテンツも含め組み合わせで作成し、その概要と手配方法を記載したwebページを作成する。	観光協会	あわじ環境未来島構想推進協議会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	あわじ環境未来島構想のプロジェクトを核に関連するコンテンツも含めて、教育旅行や研修旅行誘致を目的としたwebページを作成する。内容は各プログラムの概要、学習の視点、所要時間などのほか、昼食場所や宿泊施設も含めたコース例などを観光協会及びあわじ環境未来島構想HPに掲載する。			A 8 A 1 0
		【あわじ環境未来島構想の観光活用】 ステップ3：開発したプログラムの活用促進	・開発したプログラムを教育旅行は教育旅行社、一般視察は一般団体に活用を働きかける。	観光協会	あわじ環境未来島構想推進協議会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	開発したプログラムのうち有望なものは、教育旅行社等に売り込む。			A 1 0

基本戦略（サステイナブル戦略）：「島内外から支持される観光地」をめざし、環境保全に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
○サイクリングの普及促進、環境配慮型モビリティ（EV、FCVのバス・トラック・レンタカーなど）の導入に向けた実証実験		公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進	・淡路島発着の公共交通乗換検索サイトを充実させる。	県	3市	支援	支援	支援	支援	－	洲本土木事務所	①淡路島発着バス検索サイト「バスモ」（乗換検索サイト）を多言語化（中国語・韓国語）し、日本語以外でも検索可能となるようサイトの改良を支援する。 ②高速バス停等の現地看板表記に英語併記、あわせて、公共交通乗換検索サイトのQRコード貼付を支援する。	○		B 8
		EV充電インフラの整備、充実と広報活動	・EV充電インフラ整備を交通拠点や集客施設、公共施設に働きかけるとともに、整備（設置）状況を整理しマップ・HPでの広報活動を実施する。	県、3市、くにうみ協会	事業者	実施	実施	実施	実施	実施	県民課（未来島）	概要と同じ			D 13
		【E V レンタカー・カーシェアの導入促進】 島内宿泊施設等におけるEV充電器、EVレンタカーやカーシェアリングの導入促進	・今後の需要増加を見越して、島内宿泊施設等におけるEV充電器の設置を促進する。 ・二次交通に対応するため、EVレンタカーやカーシェアリングの導入を促進する。	観光協会	3市、宿泊施設・入場施設等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	高速バス停駐車場や航路就航時の主要港などへカーシェアリングの導入を促進するため、車両置き場の提供を各用地管理者に働きかける			D 13
		【E V レンタカー・カーシェアの導入促進】 EV導入助成制度	・EV導入助成制度利用促進の働きかけ及び告知・広報を実施する。	くにうみ協会	民間事業者	実施	実施	実施	実施	実施	県民課（未来島）	R8年度から、EVに加え、FCVバス・トラックも助成対象に拡充予定。周知を行うことで、更なるEV等の普及促進を図る。			D 13
		大鳴門橋に開通する自転車道を活用した新たなサイクリングルートの開発	・令和9年開通予定の大鳴門橋自転車道を活用し、徳島（四国）とつなぐ広域のサイクリングルートを開発する。	県、南あわじ市、徳島県、鳴門市	観光協会	－	－	準備	準備	実施	南あわじ市 商工観光課	A S Aトライアングル交流圏推進協議会と連携したルートや、Setouchi Velo 協議会と連携したルートを整理し、最終的には「セトイチ」を目指していく。			A 1 0 B 8 C 6 D 2 D 1 3
		サイクリストの走行環境整備	①サイクリストが安全・快適に迷わず走行できるよう路肩拡幅、ルート案内標識設置等を行う。 ②多様なサイクリストが快適に休憩できるよう、交通拠点等でのサイクルラック整備や、海峡を望む箇所にフォトスポットを整備する。	県、3市		実施	実施	実施	実施	実施	洲本土木事務所	①2026～2028年度の3か年で自転車通行空間を示す矢羽根を設置（1か所／100m） ②ルート案内路面表示設置		○	A9
		サイクリストの受入環境整備	・サイクリスト目線のHPの充実を図る（観光宿泊施設などのサイクリスト支援情報の発信等）。	観光協会	サイクルショップ、－ 観光・宿泊施設など関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 8
		ASAサイクリングおもてなしスポットの登録 ※ASA：AWA/SANUKI/AWAJI	・サイクリストの休憩場所や自転車の修理場所である「おもてなしスポット」を設置する。	南あわじ市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市、東かがわ市	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市 商工観光課	観光施設以外にも「おもてなしスポット」を増やせるよう広報をしていく。（現在29スポット登録）			B 3 B 8
		シンボルイベントの開催	・他地域のサイクリングイベントとの連携も視野に入れたシンボルイベント（淡路島ロングライド150）を開催する。	淡路島ロングライド150実行委員会	県、3市、くにうみ協会、観光協会、関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	淡路県民局（総務企画室）	淡路島一周150kmのサイクリングコース（通称「アワイチ」）を自転車で走る「淡路島ロングライド150」を今秋と来春の2回開催する。		○	A 1 0
		鳴門・南あわじサイクリスト向けイベントの開催	・大鳴門橋自転車道開通に向けて南あわじ市と鳴門市で連携したイベントを実施する。	南あわじ市、鳴門市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市民間事業者	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市 商工観光課	鳴門市と連携して、サイクリングに関するイベントを実施する。			A 1 0 B 3 D 1 3
		ボタリングツアー実施	・レンタサイクルと飲食・観光施設を連携させたボタリングツアーの造成・販売を実施する。	観光協会	サイクルショップ、観光・宿泊施設など関係事業者	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	レンタサイクリング事業者に、飲食・観光施設と連携したボタリングツアーの造成を働きかける。			B 3

基本戦略（サステイナブル戦略）：「島内外から支持される観光地」をめざし、環境保全に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
○住民への観光事業についての理解促進のためのセミナー、島民による観光資源体験ツアーの実施	【島民向け】 観光産業に対する島民の理解促進意見交換会など広報施策の展開	・観光戦略の概要版作成や行政発行の広報誌を通じた広報を展開する。 ・地域経済の活性化にとどまらない観光産業の重要性や、多様化する来島者へのおもてなし技術向上の必要性などについて、島民や業界団体と意見交換を行い、観光産業への理解を促進することにより、戦略の円滑な推進を図る。	県、観光協会	3市、くにうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会 交流渦潮課（観光）	島民の観光に対する理解を深めるため、観光戦略の周知を図るとともに、各種団体の総会や研修会の機会を活用して観光戦略の普及啓発や意見交換を行う。		○	A 1	
		島民dayの実施	・有料観光集客施設や宿泊施設に、無償又は廉価な価格設定で利用できる「島民特別開放デー」の設定を働きかける。	観光協会	観光協会会員施設、民間企業（会員外のリゾート施設運営会社など）	協議	実施	実施	実施	実施	観光協会	島民に淡路島観光の良さを知ってもらうため、観光協会の会員に対して島内在住者に対する特別サービスデーを設けるよう働きかける。			C 4
	○観光関連人材の満足度を高めるための施策検討（満足度調査、各種セミナー、住環境整備など）	観光人材育成セミナーの開催	・島内の主要宿泊施設や観光施設等に従事するサービス提供者を対象に、淡路島の歴史・文化・食などのバックストーリー（背景）を、十分に来島者等へ伝え、満足させるような語りが身につくよう、自らの体験など通じて、そのスキルを向上させる。 また、経営者に対するこのような取組への強い意識と理解を促進するセミナーも開催する。	観光協会	観光協会会員施設、民間企業（会員外のリゾート施設運営会社など）、県、3市、第3セクター	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・「食の伝道師」育成動画の活用及び「歴史」「産業」などを深掘り ・観光従事者などを対象に、引き続き本物体験プランの実体験を推奨（協会は事業者と体験料割引交渉を担当）			B 2
		満足度向上にむけた先進事例の調査・研究・施策の実施	・先進地への視察、研修を実施する。 ・各分野のワーキンググループを新設する。 ・観光客（お客様）満足度調査（アンケート等）の実施、結果分析からの問題点を抽出し、改善策を検討する。	観光協会	観光協会会員施設、民間企業（会員外のリゾート施設運営会社など）、県、3市、第3セクター	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・お客様満足度向上に取り組む先進地事例の研究や視察 ・満足度調査のフィードバック活用方法や質問項目など改善			A 9
		おもてなしの心コンテストの開催	・観光産業に従事する者のホスピタリティの向上及び職場のリーダー育成を目的として、接客を審査するコンテストを実施する。	観光協会	宿泊事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 2 B 3
		淡路島創作料理コンテストの開催	・来島者を「食でおもてなし」する機運向上のため、淡路島の食材を活かした創作料理コンテストを通して、新しい島グルメを創作する料理人のモチベーション向上と、「食の島」淡路島の魅力向上を図る。	観光協会	県、3市、くにうみ協会、飲食事業者等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 2 B 3
	○外国人労働者等への各種サポート	外国人ワーキングスキルアップの実施	・外国人日本語スキルアップ研修（又は勉強素材製作）を実施する。	南あわじ市、淡路市	商工団体	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市、淡路市 商工観光課	南あわじ市：市内の在住外国人労働者等に対し、ネットワーキングイベントを実施予定。 淡路市：市内在住外国人に対し、ボランティア講師による日本語教室を年間を通じて開催する。			B 2 B 8
			・淡路在住のワーキングスタッフからのヒアリングなどを踏まえたうえで日本語スキルアップの教材を製作する。	観光協会	南あわじ市、淡路市	協議	実施	実施	実施	実施	観光協会	外国人ワーカーの日本語スキルアップ用教材製作の手がかりを得るため、淡路在住の外国人ワーキングスタッフに対してヒアリングを行い、教材制作の参考とする。			B 2
	○新卒採用者の確保（特に宿泊施設）	大学観光学部との定例ミーティングの実施	・観光協会と京阪神を中心とした大学観光学部と研究会的な定例ミーティングを行い、仕事としての業界の魅力とやりがいを伝えることによって、新卒採用者の確保に務める。	観光協会	大学観光学部、宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 2

推進戦略 1（商品戦略①：物語化）：「選ばれる観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S ー D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
◆淡路島の特性(強み)である「美食」「やすらぎ」「海」「歴史」など「ほんもの」を活かした、観光コンテンツづくりの推進 ◆兵庫テロワール旅にふさわしい地域の風土（テロワール）を活かしたコンテンツづくり ◆地域や資源をより深く楽しめるストーリーの磨き上げやストーリーテリング能力の開発による体験価値向上 ◆上記の観光コンテンツを基軸とした新たな観光商品づくりの推進	○日本遺産等の紹介にとどまらず、国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーを観光コンテンツとしての作り込み、磨き上げ	【日本遺産の活用】 ステップ1：「なぜ古事記の国生み神話に淡路島が描かれたのか」にポイントを絞ったストーリー作り	・日本遺産構成文化財を活用し、「なぜ古事記の国生み神話に淡路島が描かれたのか」にポイントを絞ったストーリー作りをし、有識者に確認を依頼する。	観光協会、淡路島日本遺産委員会	日本遺産構成文化財施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	引き続き、松帆銅鐸、五斗長垣内遺跡をはじめ構成文化財が、海人の活躍や国生み神話につながるストーリーを深掘りする	○		C 8
		【日本遺産の活用】 ステップ2：背景を解き明かす観光プログラムを造成	・国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かす観光コンテンツを造成し、磨き上げる。	県、くとうみ協会、観光協会	3市	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	松帆銅鐸と五斗長垣内遺跡（現地ガイド付き）プランなどの造成	○		A 1 0 C 8
		【日本遺産の活用】 ステップ3：淡路島日本遺産ファムツアーの実施＜情報発信その1＞	・淡路島日本遺産の主要コンテンツ「伊弉諾神宮・松帆銅鐸（玉青館）・五斗長垣内遺跡」の現地ガイド付周遊ツアー・ファムトリップを実施し、ツアー商品造成・販売を実施する。	観光協会、→淡路島日本遺産委員会	県、3市、くとうみ協会、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	首都圏旅行AGTなどを中心にFAMトリップを実施し、首都圏発プラン造成を働きかけ	○		A 1 0
		【日本遺産の活用】 ステップ3:淡路島日本遺産HPの充実：バイブル的存在に昇華＜情報発信その2＞	・ストーリーはテキストと動画を活用し、「古代のミステリーの謎解き」的なテイストで、お客様参加型、地域への誘客（実際足を運びたいくなる）を意識したHPにブラッシュアップを実施する。	観光協会	淡路島日本遺産委員会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	HPの内容充実及び画像も含めて、HPリニューアルを検討	○		A 1 0
		【日本遺産の活用】 ステップ3：旅行者へ向けたストーリーの伝播＜情報発信その3＞	・日本遺産構成文化財（現地）で二次元バーコードによるHP誘導、宿泊施設での情報提供・二次元バーコード誘導、音声ガイドの新設（検討）、歴史系プロガイド（養成含め）等を実施する。	3市、観光協会	観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	二次元バーコードを活用した構成文化財の説明や、歴史系が得意で話し方が上手で観光客を十分に満足させられるガイドを発掘、養成していく。	○		A 1 0
		【日本遺産の活用】 ステップ3：淡路島日本遺産キャラクターを活用したRPGの普及＜情報発信その4＞	・RPGキャラクターや文化財のグッズ（フィギュア・消しゴム等）の製作・販売を実施する。	観光協会、→淡路島日本遺産委員会	県、3市、くとうみ協会、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ	○		B 4
		【日本遺産の活用】 ステップ3：島外にむけたプロモーション活動＜情報発信その5＞	・日本遺産の紹介動画を制作する。 ・メディア（雑誌、SNS等）公共交通機関（空港・駅構内での広告やバスへの装飾等）を活用した情報発信を実施する。	観光協会	県・3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「本物体験プラン」の展開と連携して、日本遺産だけに拘らない淡路島の魅力も含め、点から面へと拡がるプロモーション活動を実施	○		A 1 0
		【日本遺産の活用】 「国生みの島・淡路」の重要なストーリー「御食国」を活用した、御食国キャラバン「はも道中」の実施	・祇園祭でにぎわう7月初旬に、「御食国」を前面に打ち出したPRの展開として、夏の代表食材「はも」を産地である淡路島から京都八坂神社に奉納する「はも道中」を実施する。	観光協会	県、3市、くとうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「はも道中」 【日時】令和8年7月初旬予定 【場所】京都府庁（献上）、八坂神社及び周辺（はも奉納・はも素麺振舞及び練り歩き）			A 1 0

推進戦略 1（商品戦略①：物語化）：「選ばれる観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
〇地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、おいしさ、すごさを現地で体感できる観光コンテンツの造成（工場見学・ものづくり体験・魚介類のイートイン等）	〇地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、おいしさ、すごさを現地で体感できる観光コンテンツの造成（工場見学・ものづくり体験・魚介類のイートイン等）	食の背景の明確化と、観光協会グルメガイドHPのブラッシュアップ（バイブル的存在に昇華）	・食の背景（気候や土壌、人々の創意工夫や努力、機械化・技術による進歩、調理方法の工夫、サステイナブルな取組等）を詳細化し、HPに掲載する。	観光協会	食のブランド「淡路島」推進協議会、各種協議会等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光客に対して食や食材の背景を語れる「食の伝道師」育成用動画及びテキストの活用と、「美食地質学」を映像化し、サイトに掲載する。			A 1 0
		観光協会グルメガイドHPの二次元コードを介した閲覧機会の拡大	・レストラン・食堂・観光施設等で二次元コードが読み取れるツールの設置と定着、及び宿泊施設夕食お品書きへの二次元コード掲載等あらゆる拡散手法を検討する。	観光協会	食のブランド「淡路島」推進協議会、各種協議会等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	宿泊施設夕食お品書きへの二次元コード掲載の徹底と、こだわり宣言店やレストラン、飲食施設等のメニューへの掲載の徹底など効果的な周知			A 1 0
		【地場産業・農水産業の活用】 ステップ1：地場産業、農水産業の臨場感あふれる現場を活用し、淡路島らしさにこだわった観光プログラム開発（国内外対応）	・地場産業においては、淡路瓦（南あわじ）・線香（江井）・手延べ素麺（福良）を第一ターゲットとし、本物見学（職人）・体験（お客様）・試食等を組合せブラッシュアップさせる。また、ガイド（コンシェルジュ）を養成し、生産者との橋渡し・コンテンツアレンジ・自らのガイドの高度化を実現する。 ・農水産業においては、生産者の臨場感を損なわない雰囲気・空間の中での魚介類・農産物のお土産販売と、地産地消にこだわったBBQ・イートイン設置等を含む食事提供の拡販の実現に向けて取り組む。	観光協会	島関連団体、観光事業者等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・玉ねぎ収穫、ワカメ収穫、塩づくり、なるとオレンジなどの果樹類などの農水産業の収穫体験や生産現場見学と、試食（イートイン）や加工体験（コンフィチュール作り）などを組み合わせたプランを造成する。 ・コーディネーター的ガイド育成に向けた人材の育成	○		A 1 0 B 3
		フィールドパビリオンの魅力発信	・ひょうごフィールドパビリオン淡路島地区ネットワークと連携してプログラムを網羅したガイドブック等を作成し、情報を発信する。 ・長い歴史の中で育まれてきた地場産業の魅力について、ストーリー性をもって人々に感動や共鳴を与えることで、内外に向けた発信力を強化する。	県	産地組合	－	－	－	実施	実施	交流渦潮課（産業）	概要と同じ			B 3
		【地場産業・農水産業の活用】 ステップ2：国内外を対象とした販売体制の構築	・観光コンテンツの体験の予約の仕組み作り（シンプル化・WEB化）と継続するための収益面での構造を構築する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光協会HP体験予約ページ販売プラン手数料徴収（事業者から）を検討するとともに、海外OTAサイトでの販売も順次拡大する。	○		A 1 0
		【地場産業・農水産業の活用】 ステップ3：ファムツアーによる情報発信（国内外対応）	・ステップ1で開発した観光プログラムを活用し、旅行会社・インフルエンサーを対象としたファムツアーを開催し情報を発信する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	国内外の商談会参加、FAMトリップの実施、商談相手へのタリフ送付、淡路島内のランドオペレーターまで一気通貫のサービスを展開する。			A 1 0
		兵庫デスティネーションキャンペーンをスタートとして、淡路島産食材と有名企業等とのコラボレーション事業の展開	・「兵庫デトロワール旅」の趣旨に沿って、有名企業と連携して淡路島産食材（淡路島なるとオレンジなど）を生かしたお茶菓子等の開発を行い、宿泊施設等で提供する。	観光協会	県、+3市、+くにうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	洋菓子会社と共同で、淡路島なるとオレンジを活用した淡路島ならではの感のあるお茶菓子などを開発するとともに、商品開発につながる可能性のある食材等の研究			A 1 0
	〇ストーリーテラーとしてのガイドの養成とガイドを活用したプログラムの開発	ステップ1：多様なガイドの育成	・スポット限定のボランティアガイド・プロガイド、スループロガイド・多言語対応プロガイド（3市連携）の養成を実施する。 ・インバウンド向けにはファムトリップに合わせ模擬ガイドを実施する。 ・育成にあたってはガイド向けガイドブック（教本）を作成し、クオリティの統一に努める。	観光協会	3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・R7年度に認定した通訳ガイド（カルチャーアテンダント）へ、ガイドスキル向上を目的とした研修の実施 ・インバウンド向けFAMトリップに随行し、実践的なガイドを実践するとともにフィードバックを受ける。	○		B 7 C 7 D 3
		ステップ2：多様なガイドを活用した着地型プログラムの造成	・ガイド案内をメインとした着地型プログラムを造成する。	観光協会	南あわじ市、地域おこし協力隊、観光協会会員、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	現在オンライン販売中のプランに加えて、ガイド付きプランを充実させていく。	○		A 1 0 B 4
		ステップ3：多様なガイドを活用した着地型プログラムの販売	・オンライン販売を強化・拡大し、専用ページ化する。合わせて多言語化した上で、海外OTAでの販売を実現する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	上記プランを充実させ、海外OTAでも販売する。	○		A 1 0 B 4

推進戦略 1（商品戦略①：物語化）：「選ばれる観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
○海、温泉、文化、食とコラボし、旅をきっかけとして健康になる「ヘルスツーリズム」（運動×休養×栄養×癒やし《例：アニマルセラピーなど》）コンテンツの造成）の推進		淡路島ヘルスツーリズムの推進	・「淡路島で健康になる旅（ヘルスツーリズム）」のコンテンツを充実させ、魅力的な旅行商品としての価値向上に向けた磨き上げを実施する。	観光協会	県、3市、くにうみ協会、観光・宿泊施設、関連事業者、大学	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「食」の生産現場での生産者との触れ合い、収穫実体験をはじめ食文化や食材を深く知り、地産地消を楽しみながら癒され、明日への活力を感じられるような「ガストロミーツーリズム」的要素をとり入れた、コンテンツを造成する。			A 1 0
		ヘルスツーリズムに特化した宿泊プランの造成と販売	・食・温泉・リラクゼーション・サウナ等をヘルスツーリズムの観点で組み合わせた宿泊プランに、必要に応じて宿泊施設外のコンテンツを組み合わせ、観光協会HP等にて販売する。	観光協会	宿泊施設、島内各企業	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	上記で造成されたコンテンツは、観光協会オンラインで販売する。また、宿泊施設プランと絡められるコンテンツであれば、観光協会HPから宿泊プランへつながる導線としていく。			A 1 0 B 3
		アニマルセラピー（動物で癒やされる）コンテンツの開発と販売	・淡路島モンキーセンター（サル）・じゃのひれアウトドアリゾート（イルカ・馬）・ハーモニーファーム（馬・海中）等にてコンテンツを開発し、観光協会HPにて販売する。	観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	アニマルセラピー（動物で癒やされる）コンテンツの開発に取り組み、観光協会HPにてオンライン販売する。			A 1 0
		高齢者やこどもの体調や症状に細やかに対応した食事提供	・細やかに対応した食事内容を宿泊施設HPにて予約販売する具体的な手法を確立し、島内宿泊施設に実装する。	観光協会	宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	具体的手法を確立できるよう専門家に相談			B 8
		ヘルスツーリズムの情報発信の充実	・ヘルスツーリズムの定着とさらなる発展に向け、観光協会HPに特集ページを作成し、ヘルスツーリズムを紹介する動画を制作し、HPの内容の充実、新しい情報へのブラッシュアップを実施する。	観光協会	県、3市、くにうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	上記の事業展開にあわせ、既に作成済の特集ページのブラッシュアップを行う。			A 1 0
○港・海岸を拠点としたにぎわいづくりの推進		観光目線も取り入れた港の再整備計画策定の働きかけ	・画一的な整備ではなく、観光視点も整備計画に取り入れて、景観と賑わいが計画に盛り込まれるよう整備主体に働きかける。	観光協会	県、3市	要望	要望	要望	要望	要望	観光協会	概要と同じ			A 1 0
		港・海岸で体験できる魅力的なプログラムの造成	・先進地の事例を調査・分析し、賑わいづくりに繋がるプログラムを造成し、磨き上げる。	観光協会	県、3市、関連事業者	調査	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			A 1 0
		港・海岸を活用したイベントの開催	・各市の花火大会等に合わせ、船上からの花火見学、港を活用したマーケット等を実施する。	3市、各実行委員会	観光協会	準備	実施	実施	実施	実施	3市商工観光課	洲本市：花火大会については実行委員会において開催に向けた協議を行い、船上からの花火見学についても昨年同様に実施主体のクルーズ船実行委員会と協力していく。 南あわじ市：にぎわいづくり事業として、各地域の花火大会等イベントへの補助金を交付予定。 淡路市：臨時駐車場の確保等、諸問題の解決のため、令和8年度の開催は見送る。			A 1 0 B 3
		漁港の活性化	・漁港の空きスペースを活用し、イートインスペースや魚の直売所、釣り堀等の整備や、朝市のようなイベントを実施する。	観光協会	県、3市、漁協、関連事業者	準備	準備	実施	実施	実施	観光協会	水揚げやセリ現場の見学と魚介類の購入やイートインができるコンテンツを造成する。			A 1 0

推進戦略 1（商品戦略①：物語化）：「選ばれる観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
○淡路島ならではの楽しみ方、過ごし方をテーマ別に情報発信		【ターゲットごとの情報発信】 提供可能コンテンツを一覧化し、クラスターごとの親和性を想定した情報発信	・クラスター分類として、発地（距離）、インバウンド（欧米・アジア等）、趣味趣向、富裕層（レベルあり）、知的好奇心等に分けて発信する。 ・関西圏及び首都圏等へ発信力のあるマスメディアを活用する。	観光協会	県、3市、くにうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			A 1 0
		観光情報発信内容の見直し	・観光協会HPや季節ごとに観光情報を発信する「ぶらっと淡路島」等のパンフレットの内容をブラッシュアップし、県・市HPで発信されている観光情報と連動して発信する。	観光協会	県、3市、観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			A 1 0
		メディアを活用した広告・宣伝	・夏は「はも」、冬は「淡路島3年とらふぐ」のシーズン直前に、各新聞社、ラジオ、テレビ局等マスコミ及び旅行会社への訪問、京阪神及び首都圏へのPRを実施する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			A 1 0
		ローカライズされた情報の収集と発信	・地域のお祭りやイベント、地域の名物おじさん（おばさん）、フォトジェニックスポットなどローカライズされた情報を収集・発信する。	観光協会	3市、事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			A 1 0 B 4
		富裕層・高付加価値層を対象とした媒体への掲載	・富裕層を読者層にしている雑誌等で、淡路島の歴史・食等についての情報を深掘りし、継続的に発信する。	観光協会	3市、事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			A 1 0
		SNS、HPを活用した情報発信	・淡路島で開催されるイベント、祭り等の情報発信を協会HPで一元的に実施する。 ・フォロワー数の多いSNSアカウント運営者と連携し、淡路島の観光・店舗情報等について、継続的に発信したり、インスタ版投稿コンテストなどSNSの活性化施策を実施する。	観光協会	県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・観光協会HPやSNSを活用してイベント情報等を発信。 ・インフルエンサーを招聘し、アジア圏・欧米圏に向けて情報発信の実施・強化			A 1 0
		「淡路島ならではの本物体験」にかかる情報発信	・インフルエンサー等を活用した情報発信を展開する。	観光協会	事業者			実施	実施	実施	観光協会	・インフルエンサー等起用し、InstagramなどSNSを活用し、体験プラン等の情報を発信する。			B 8 A 1 0
		インバウンド向けの情報発信	・淡路島観光協会の繁体字版サイトを活用したインバウンド向けの情報を発信する。	観光協会	県、3市、くにうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 8 A 1 0
○推進戦略1のコンテンツ・プログラムを活用した旅行会社等への働きかけ		京阪神等の近畿エリアをターゲットとした「となりレポート。淡路市」観光プロモーションの継続的な推進	・主に近隣の近畿圏をターゲットとしたとなりのレポート地としてのブランドイメージの向上に向けて、電車やバス等の交通拠点（JR三ノ宮駅、JR大阪駅及び神姫バス神戸三宮バスターミナル待合所）等のデジタルサイネージへの広告掲出やホームページ、SNSによる観光PRを行う。	淡路市		－	実施	実施	実施	未定	淡路市 商工観光課	概要と同じ		○	A 1 0
		旅行会社や各種WEBページを介した働きかけ	・コンテンツ・プログラムを全量売り込むのではなく、クラスター分類に基づきテーマや付加価値レベルを鑑みた働きかけを展開する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ひょうご観光本部など他地域団体と連携し、積極的に商談会に参加し、「淡路島ならではの本物体験」コンテンツを旅行会社等へ売り込む。			A 1 0

推進戦略2（商品戦略②：高付加価値化）：「京阪神以外からも選ばれる観光地」をめざし、首都圏等遠隔地発のシェア拡大に向けた誘客の促進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
◆遠隔地からの旅行者(インバウンド含む)に、旅行先として選択してもらうための高付加価値型（高品質）商品づくり ◆遠隔地発の旅行者のシェア拡大による観光の消費単価の押し上げ ◆大阪ベイエリア、瀬戸内海エリア、兵庫県での大型イベント等に連携し、その影響を見据えた観光ルート等の展開	○高品質グルメの観光商品づくりと食の伝道師の養成等	「御食国ブランド」の推進に向けた広域連携事業	・「御食国」の淡路、若狭、志摩と「都」京都が一体となり、「御食国ブランド」を確立するためのプロモーションを実施することにより、インバウンドも含めた観光促進を図る。	県、3市	御食国事業実行委員会（関西観光本部）、関係府県市（京都、福井、三重、3市）	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	2025年度に実施したインバウンドをターゲットにした御食国ツーリズム商品をさらに磨き上げ、プロモーションを図る。			A 1 0 B 3
		食の背景を語れる観光従事者の育成事業	・観光客の淡路島の「食」に対する満足度を高め、付加価値を向上させるため、「食」や「食材」の背景を語れる観光従事者を育成する。	観光協会	観光協会会員、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光客に対して食や食材の背景を語れる「食の伝道師」育成用動画を活用して、観光従事者を「食の伝道師」へと育成していく。			B 2 B 3
		同一食材の中での目利き・タグ付け等で、グルメブランドのランク付け推進	・天然魚介類（鰻・サワラ・うに等）のランク付けを推進し、高級希少ブランドを高単価で販売する。	観光協会	各漁業協同組合	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	先進事例を調査し、県市漁協関係者とともに先進地視察や情報交換を行う。			B 3
		淡路島の食材を生かしたハラル料理・ヴィーガン料理の研修	・ハラルを学び、イスラム教を信仰するインバウンド客の受入環境を整備する。	観光協会	観光協会会員、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	対応済み施設や内容等を把握し情報共有する。			B 8
		淡路島限定！「ここでしか食べられない旅」プランの造成	・宿泊施設と高品質グルメ提供店舗での夕食コラボ旅行商品を造成する。	観光協会、宿泊施設、高品質グルメ提供店舗		準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	高品質グルメ提供店舗も含め、宿泊＋夕食（又は2次会）などナイトコンテンツとしての仕掛けづくりを実施			A 1 0 B 3
		淡路島この時期限定！「この時しか見られない食べられない旅」プランの造成	・宿泊施設と高品質グルメ提供店舗での夕食、サンセットクルーズ（ナイトクルーズ）のコラボ旅行商品を造成する。	観光協会	宿泊施設、高品質グルメ提供店舗、関連事業者	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	まずは「海ホテルショー」などナイトコンテンツの造成や磨き上げを行う。その後、宿泊施設との連携や旅行会社へ売り込み			A 1 0 B 3
		新たな淡路島産食材の魅力発信	・淡路島産食材のブランド化とメニュー開発、認知度の向上を図る。	食のブランド「淡路島」推進協議会		実施	実施	実施	実施	実施	洲本農林水産振興事務所	淡路島産の牛乳やその牛乳を使用しているスイーツなどを一体的にPRすることにより、認知度の向上や淡路島への来訪を促す。			B 3
		淡路島産食材「こだわり宣言店」制度の推進	・観光客等に対する淡路島産食材の認知度向上と需要拡大に取り組む飲食店を支援する。	食のブランド「淡路島」推進協議会		実施	実施	実施	実施	実施	洲本農林水産振興事務所	淡路島産食材を一定以上使用する店舗を「こだわり宣言店」として認定し、パンフレットやホームページにより観光客等にPRする。			B 3
		食のリレーイベントの開催	・「御食国月間」を定め、この期間に開催する「食に関するイベント」で、秋季の島外からの誘客を図り、淡路島産食材をPRする。	食のブランド「淡路島」推進協議会	観光協会	実施	実施	実施	実施	実施	洲本農林水産振興事務所	概要と同じ			B 3
		世界一の食の島の推進	・古来「御食国」として都の食を彩ってきた淡路島の豊かな食材を生かし、文化・芸術レベルとなる「食」を提供する淡路島を目指す。	県、3市、観光協会	観光事業者（コアメンバー）	－	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	世界一の食の島を先導する取組として、空き家を活用して飲食店を集積等し街の活性化を図るため、福良地区をエリアマネジメントする「まちづくり会社」の支援を行う。 出店誘致や空き家対策の機運醸成のため、街歩きイベントを開催。			A 1 0 B 3
		世界に誇る食のエリア形成の推進	・神戸・淡路地域が連携し、食のブランド価値向上や旅行者の受入基盤整備、飲食人材育成等により、国内外からの観光誘客の促進を図る。	県、神戸市、3市、観光協会	観光事業者（コアメンバー）	－	－	－	実施	実施	南あわじ市商工観光課	概要と同じ	○		A 1 0 B 3
○鳴門海峡の渦潮を活用した観光プログラムの磨き上げ	地域をより楽しめる海上と地上コンテンツを組み合わせたプログラムの造成	・渦潮クルーズと福良港（水揚げ・セリ・しらす天日干し）や、手延べ素麺見学・体験、旧市街散策・飲食店での食べ歩き等と組み合わせたプログラムを造成する。	観光協会、南あわじ市	関連事業者	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	クルーズとの掛け合わせできそうな単体コンテンツの造成及び磨き上げ（福良の街並散策、食べ歩きが最優先）			A 1 0 B 3	
	鳴門海峡エリアの観光ブランディング事業	・鳴門海峡の渦潮が育む海の幸を活かしたグルメ開発や、鳴門海峡エリアの自然と体験コンテンツをPRすることで、ブランド力を高める。	南あわじ市、鳴門市	南あわじ市観光事業者、鳴門市観光事業者	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	鳴門市と連携して作成したHP「うずしおぐるぐる」による情報発信、うずの幸グルメ・カップイングルメの開発及びお披露目会の実施、「うずしお海道」プロジェクト推進協議会を中心に事業を推進する。	○		A 1 0 B 3	
	【再掲】大鳴門橋に開通する自転車道を活用した新たなサイクリングルートの開発	・令和9年開通予定の大鳴門橋自転車道を活用し、徳島（四国）とつなぐ広域のサイクリングルートを開発する。	県、南あわじ市、徳島県、鳴門市	観光協会	－	－	準備	準備	実施	南あわじ市商工観光課	A S Aトライアングル交流圏推進協議会と連携したルートや、Setouchi Velo 協議会と連携したルートを整理し、最終的には「セトイチ」を目指していく。			C 6 D 2	

推進戦略2（商品戦略②：高付加価値化）：「京阪神以外からも選ばれる観光地」をめざし、首都圏等遠隔地発のシェア拡大に向けた誘客の促進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S ー D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
○「ひょうごフィールドバビリオン」を活かした高付加価値化への対応（例：特別な体験ができるプレミアム旅行商品の造成など）		大阪・関西万博に向けた着地型観光商品の開発と活用に向けた体制整備	・地域の「SDG s を体現する活動現場(フィールド)」を発信し、多くの人が見て、学び、体験する「ひょうごフィールドバビリオン」の展開に向け、食・農・自然・文化・なりわい等を「淡路ならではの」、「特別感」をコンセプトにした着地型観光商品として磨き上げ、活用できる体制を整備する。	観光協会	県、3市、観光・宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	引き続き「淡路ならではの」、「特別感」をコンセプトに「淡路島ならではの本物体験」を造成、磨き上げを実施	○		A 1 0 B 4
		アドベンチャーリズムのプログラム造成	・欧米人を対象にした、トレッキングコースの整備と体験プログラムを造成する。	観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ	○		A 1 0 D 4
		多言語対応できるガイド・コーディネーターの養成	・生産者等現地の生活者との橋渡しやコーディネートのできる人材を養成する。	観光協会	3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	R7年度に認定した16名の「淡路島カルチャーアテンド」を、研修やFAMトリップ随行等を通じ育成していく	○		B 4 B 7 C 7 D 3
		誘客・販売できるルートの確立	・多様なエージェントとの連携で、誘客・販売ルートをできるだけ多数確保する。	観光協会	ひょうご観光本部	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光協会主催「ネットワークングイベント」を継続開催するほか、ひょうご観光本部、神戸観光局、関西観光本部、瀬戸内DMO、近畿経済産業局、徳島県など他団体や他地域と連携して商談会など積極的に参加し、AGTとのネットワークをさらに拡大させる	○		A 1 0
○大阪・関西万博に併せ、ひょうごフィールドバビリオンと連携した淡路島独自の観光イベントを開催		A W A J I 島博のレガシーを継承する事業の推進	・大阪・関西万博に合わせて実施した「A W A J I 島博」のレガシーを継承する事業を展開し、島内へのさらなる誘客と周遊を促進する。	観光協会	県、3市、くにうみ協会	－	－	－	実施	実施	観光協会	・AWAJISHIMA観光スマートパスポートの仕組みを見直し、継続して販売促進を図る。 ・淡路島ウェブスタンプラリー「島たまGo」の磨き上げを実施し、ゲーム性を向上させる。 ・「淡路島ならではの本物体験」コンテンツの造成や磨き上げ。	○		
○特別感のある観光プログラムづくり（ドローンなどを活用したプライベート撮影など）		高単価でも販売できる、観光消費単価アップに寄与するプログラムの開発	・「いまだけ」「ここだけ」「あなただけ」を意識したプログラムを開発する。 【例】 観光地でお客様のためにドローンを飛ばし、お客様も映ったオリジナルのオンリーワン動画を販売 わかめ捕り体験をした後、とれたてのわかめを現地でしゃぶしゃぶにして食べる体験コンテンツ	観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	特別感のある体験コンテンツを造成する			A 1 0 B 3
○首都圏・インバウンド等を対象としたキャンペーン		【再掲】富裕層・高付加価値層を対象とした媒体への掲載	・富裕層を読者層にしている雑誌等で、淡路島の歴史・食等についての情報を深掘りし、継続的に発信する。	観光協会	3市、事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ひょうご観光本部等と連携し、各種媒体掲載のため取材対応、行程作成、現地アテンド、日程調整、画像提供などワンストップサービスを提供する。			A 1 0
		徳島空港＋レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ	・徳島空港＋レンタカー等の活用を航空会社、旅行会社、OTA等に働きかけ、旅行雑誌等又は各会社H Pでの淡路島特集を展開する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会 南あわじ市 商工観光課	引き続き航空会社、旅行会社、O T Aに働きかけ、各社のウェブサイトでの淡路島特集の紹介など広告宣伝を進めるとともに、徳島県や徳島空港と南あわじ市内を結ぶ連航バスと連携し、南あわじ市と共同でP Rを行う。	○		A 1 0
		神戸・徳島空港等を活用した富裕層インバウンドの招聘（FAMトリップ）	・富裕層インバウンドを対象に活動しているランドオペレーター会社を招聘し、FAMトリップを実施する。	観光協会	関連事業者	－	－	実施	実施	実施	観光協会	富裕層インバウンドを対象に活動しているランドオペレーター会社を招聘し、プロモーションを行うことでプラン造成に繋げ、富裕層インバウンドの誘客を促進する。			A 1 0 B8
		首都圏内旅行会社等へプラン造成の働きかけ	・首都圏在の旅行会社を招聘し、プロモーションを行う。	観光協会	関連事業者	－	－	実施	実施	実施	観光協会	観光協会主催「ネットワークングイベント」をばじめ、商談会などに積極的に参加し「淡路島ならではの本物体験」コンテンツなど首都圏からの誘客を促進する。			A 1 0
		空港を活用した広告プロモーション	・首都圏等遠方からの誘客のため、淡路島のP Rや特産品の展示、販売を行う。	観光協会	関連事業者	－	－	実施	実施	実施	観光協会	空港のプロモーションスペースなどを活用し、P Rや特産品の展示・販売を行うことで、淡路島の魅力を認識してもらい、来島者の増加に繋げる。			A 1 0 B8
		知的好奇心のある富裕層を意識したプログラムの造成	・産業観光・農水産業観光を完成させ、知的好奇心をくすぐるプログラムを造成する。	観光協会	島内各企業	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	富裕層対象のAGTをFAMトリップで招聘し、体験コンテンツのグレードアップへのアレンジなどを実施			A 1 0 B 4

推進戦略2（商品戦略②：高付加価値化）：「京阪神以外からも選ばれる観光地」をめざし、首都圏等遠隔地発のシェア拡大に向けた誘客の促進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
	○顧客層のターゲティングとDXの活用によるプロモーション	提供可能コンテンツ・プログラムを一覧化し、クラスターごとの親和性を想定し検索可能とするシステムの構築	・構築したシステムで、お客様が自ら検索して、お客様のニーズに合った旅のコンテンツが見つけれられる仕組みを構築する（AI活用を含む）。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「淡路島ならではの本物体験」のタリフ（検索機能付き）を、定期的（毎月程度）にAGTに送付。海外AGT対応のためタリフの多言語化も必要に応じて作成			A 1 0
		関西国際空港を利用する中国、台湾、香港からのインバウンド向けのインフルエンサーを活用したファミトリップの実施	・関西国際空港全体構想促進協議会等と連携し、台湾などからのインフルエンサーをターゲット別に招聘し、情報発信やツアー造成を実施する。	観光協会	県、3市、くとうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	関空に多く訪れるアジア圏インバウンドを中心として、引き続き香港・台湾のインフルエンサーを活用した情報発信を実施			A 1 0
	○遠隔地からの旅行行動を意識したルートの提案や徳島県、瀬戸内地域との広域連携による周遊ルート提案（広域連泊）	【徳島県との連携】 徳島・淡路広域観光連絡会議と連携した情報発信	・パンフレット等での情報発信を実施する。	県	徳島・淡路広域観光連絡会議（3市、観光協会、徳島県、徳島県内各市町）	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	両地域の周遊及びリピーターの増加を促進するため、島内3市及び徳島県と共同し、クーポン付きのガイドブック「淡路島＆徳島とくとう周遊ガイド」を作成する。また、周遊の効果を検証し、次年度以降の取組につなげる。			A 1 0
		【広域的な周遊】 首都圏やインバウンドを意識した広域周遊ルートの造成	・首都圏発2～4泊程度のモデル周遊コース、関西空港発着の3～7泊程度のモデル周遊コースを、クラスターの嗜好別に造成する。	観光協会	【広域連携DMO】 関西観光本部、せとうち観光推進機構 【地域連携DMO】 ひょうご観光本部	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ひょうご観光本部や他地域他団体との広域連携を強化し、広域周遊ルートを確立させる。			A 1 0
		【広域的な周遊】 添乗員付きツアーを前提とした旅行会社への働きかけ	・広域周遊を前提におき、添乗員付きツアーを主に扱う旅行会社を中心に働きかけを実施する（首都圏以外の発地も含む）。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	上記に同じ			A 1 0
		【広域的な周遊】 連携先エリア（観光協会・DMO)における双方での情報発信	・ルートに含まれる他の観光協会やDMOのHPへの相互掲載を始めとする情報発信事業を実施する。	観光協会	せとうち観光推進機構	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	上記に同じ			A 1 0
	ふるさと納税制度を活用した観光消費の促進	ふるさと納税返礼品として地域共通券「ふるさと南あわじ応援券」の商品を造成し、観光消費を促進	・南あわじ市内観光協会の宿泊施設、飲食店、観光施設で利用できる応援券をふるさと納税返礼品として出品する。	観光協会	南あわじ市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			A 1 0 B 3
	○推進戦略2のコンテンツ・プログラムを活用した旅行会社等への働きかけ	各旅行会社の得意分野を把握した働きかけを推進	・高付加価値プログラムは、それぞれ旅行会社により得意・専門分野が異なることから、これらの違いを把握したうえでピンポイントな働きかけを実施する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ネットワークイベント、商談会、FAMトリップなどで旅行AGTの営業対象地域など特徴を把握し働きかける。			A 1 0
		新たな誘客ルートを確認	大型クルーズ船の淡路島発寄港を推進し、クルーズ船を活用した新たな誘客ルートを確認し、淡路島内の観光事業を推進する。	洲本市		実施	実施	実施	実施	実施	洲本市	淡路島に寄港して頂くための交渉を行う。		○	A 1 0

推進戦略3（アメニティ戦略）：「快適に過ごせる観光地」をめざし、円滑な移動や快適な滞在を実現する受入環境整備を推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S ー D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
◆公共交通によるアクセスの情報提供方法を充実・改善 ◆利便性の高い公共交通のネットワーク化等の働きかけ ◆未来型モビリティなど新たな移動サービスの導入 ◆来訪者の心地よい滞在を支援する受入環境の整備を推進 ◆多様な旅行者に対応するユニバーサルツーリズム（アクセシブルツーリズム）の推進 ◆旅行者目線を取り入れるとともに、観光客を気持ちよく迎える景観づくり・景観の再構築	○高速バス・路線バス・コミュニティバス間の接続性向上、新幹線・飛行機（関西3空港、徳島空港）・高速バスとレンタカーの活用促進【陸】	淡路島発着バス検索アプリ周知促進	・淡路島発着バス検索アプリ「バスモ」（乗継検索アプリ）QRコードを、観光案内所、バス(船)の切符売場、停留所、待合所、バス(船)内及び座席へ貼付するなど各種PRを実施（依頼）する。	県、3市、観光協会	淡路島地域公共交通活性化協議会、バス事業者、船舶事業者、観光協会会員施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	バス会社、船会社等と連携を強化し、さらに周知促進を図る	○		B 8
		観光地周遊バスの運行	・淡路島島内の観光地周遊バスの運行を、淡路島観光交通調整会議で協議検討するよう働きかける。	観光協会	淡路島地域公共交通活性化協議会、淡路市コミバス・パソナ無料シャトル・パンパンバス事業者	要望	検討	実施	実施	実施	観光協会	交通事業者も含めて二次交通の課題を共通認識するとともに、引き続き観光周遊シャトルバスの運航などを提案し、解決に向けた具体策を模索する。	○		B 8
		お客様の選択肢としてのレンタカーの充実（EVの比重アップ）	・以下のパターンで選択肢と情報の充実を図る。 【例】促進のためのキャンペーンを検討（キャッシュバックに類似するプラン等） 徳島空港発着（EVの充実） 主要高速バス停（淡路SA・洲本BCなど） 大阪3空港、新神戸駅は同時PRなど	観光協会	レンタカー各社	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	レンタカー活用促進成功事例の調査や、具体的な取組策を神戸・徳島空港等と継続して意見交換する			D 1 3
		淡路島観光協会HPアクセスページのリニューアル	・観光協会HPのアクセスページを改善する（関西3空港、徳島空港からJR、高速バス、船などの乗り継ぎを分かりやすく表示し、島内レンタカー業者へのダイレクト予約やバスモへの直結も検討する）。	観光協会	県、3市、観光情報を発信する関連事業者、観光・宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	島内交通一覧をより見やすく、わかりやすくするとともに、HP全体のリニューアルも検討			A 1 0
		公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進（淡路島MaaSの推進）	バス乗り場の機能強化、バスの機能強化、公共交通乗換検索サイト(buSmo)の機能強化に計画的に取り組み、関西～淡路島～四国間のストレスフリーな移動利便性の向上、島内二次交通の充実をめざす。	県、3市	淡路島地域公共交通活性化協議会	支援	支援	支援	支援	－	洲本土木事務所	①淡路島発着バス検索サイト「バスモ」（乗継検索サイト）にバス路線（コミバス）のナンバリングを実装する。 ②バスモに遅延情報機能を追加する ③高速バス停等の現地看板表記に英語併記、あわせて、公共交通乗換検索サイトのQRコード貼付を支援する。	○		B 8
		【再掲】徳島空港＋レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ	・徳島空港＋レンタカー等の活用を航空公司、旅行会社、OTA等に働きかけ、旅行雑誌等又は各会社HPでの淡路島特集を展開する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	引き続き航空公司、旅行会社、OTAに働きかけ、各社のウェブサイトでの淡路島特集の紹介など広告宣伝を進めるとともに、徳島県や徳島空港と南あわじ市内を結ぶ運航バスと連携し、南あわじ市と共同でPRを行う。	○		A 1 0
		【再掲】島内宿泊施設等におけるEVレンタカー（カーシェア）などの導入促進	・高速バスで来島して、一定の範囲を車で回る需要に対応するため、宿泊施設や、高速道路のバス停駐車場の活用を働きかける。	観光協会	3市、宿泊施設・入場施設等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	高速バス停駐車場や航路就航時の主要港などカーシェアリングの導入を促進するため、車両置き場の提供を各用地管理者に働きかける	○		D 1 3
		大鳴門橋周辺環境整備事業	大鳴門橋周辺エリアを観光拠点として再整備し、交通便利性の向上や地域活性化を図る。	南あわじ市		実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市	・淡路島南IC付近に駐車場を整備し、オーバーツーリズム対策を図る。 ・淡路島南ICの料金所の外にある高速バス停を淡路島南PA内へ移設し、京阪神や四国方面からの来訪者の新たな交通手段を確保する。 ・南あわじ市と鳴門市、民間事業者が連携して、大鳴門橋自転車道の両端においてレンタサイクル事業を運営を行う。	○		B 8
新たな二次交通の導入	洲本バスセンターをはじめとした交通結节点周辺へ新たな移動手段の導入を検討し、整備を行う。	洲本市		-	-	-	実施	実施	洲本市	概要と同じ		○	B 8		
乗り継ぎ検索システムの開発(南あわじ市版バスモの全島展開)	南あわじ市版バスモの全島展開及びユーザービリティの向上	・南あわじ市版バスモを全島全域に拡大する。 ・あわせて段階的に、①「観光地から探す」を全島展開②船を含む3回乗り換えの検索機能実装③目的地から検索の追加④その他機能の追加等を検討する。	県、3市、観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・島内移動手段（レンタカー・カーシェア・タクシー等）の検索機能の利便性向上 ・英語以外の多言語対応（中国語・韓国語）			B 8	
○未来型モビリティ（空飛ぶクルマなど）交通機関の早期誘致に向けた取り組み	未来型モビリティの島内誘致及び活用推進	・未来型モビリティ（空飛ぶクルマ）事業者と積極的に情報交換・共有の協議を実施し、早期実現に向けた実施策などを検討する。 （実施策案） 島内で窓口となる行政機関の決定誘致に関する問題点の洗い出し 候補地の選定 地権者等、周辺住民への説明（誘致場所の近隣に影響のない場合は除く）	県、観光協会、空飛ぶクルマ関連事業者	観光・宿泊関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	県や空飛ぶクルマ関連事業者との情報交換・共有を行いながら、早期実現に向けた効果的な実施策を検討する。			D 1 3	

推進戦略3（アメニティ戦略）：「快適に過ごせる観光地」をめざし、円滑な移動や快適な滞在を実現する受入環境整備を推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
観光地		関西国際空港・神戸空港～洲本ヘリポートの早期誘致	・関西国際空港、国際化しプライベートジェット対応できる神戸空港から、新設した洲本のヘリポートの路線の早期認可を働きかける。	観光協会	宿泊事業者、ひょうご観光本部、JAL・ANA	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ひょうご観光本部「LUXUARY HYOGO JAPAN」サイトで販売中の「京都・大阪・神戸～淡路（ヘリ活用）」プランを、ひょうご観光本部と連携し富裕層AGTへ働きかける			B 8
		ヘリポートを持つ他の観光地とのセット販売	・富裕層を意識し、ヘリポートを活用可能な宿泊施設等とセットしたコンテンツを開発・販売する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	上記働きかけのなかで、他地域連携も意識して取り組む			A 1 0
	○淡路地域サイクルツーリズムの推進	淡路地域サイクルツーリズムの推進	・「アワイチ推進プログラム50（R6～）」に基づく走行環境・受入環境の整備や、情報発信を実施する。	国、県、市、観光協会、民間事業者	淡路地域モデルルート推進協議会、観光・宿泊施設、協議会構成員以外の関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	専用HPコンテンツの充実やノベルティ・マップの作成によりさらなるサイクリスト誘客を目指すほか、他地域のサイクリング聖地との連携による相互送客に取り組む。		○	A 1 0 B 8 C 6 D 2
		マイカーや船舶以外で自転車を輸送するための仕組みづくりの調整	・マイカーや船舶以外で自転車を輸送するための仕組みづくり（高速バスの活用）などを、各運輸機関に働きかけ多様な方法でサイクリストのアクセス向上を支援する。	県、観光協会、3市	交通関連事業者	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	サイクリストだけでなく、二次交通の課題解決に含めて検討			B 8
		【再掲】サイクリストの走行環境整備	①サイクリストが安全・快適に迷わず走行できるよう路肩拡幅、ルート案内標識設置等を行う。 ②多様なサイクリストが快適に休憩できるよう、交通拠点等でのサイクルラック整備や、海峡を望む箇所にフォトスポットを整備する。	県、3市		実施	実施	実施	実施	実施	洲本土木事務所	①2026～2028年度の3か年で自転車通行空間を示す矢羽根を設置（1か所／100m） ②ルート案内路面表示設置		○	A 9
		【再掲】サイクリストの受入環境整備	・サイクリスト目線のHPの充実を図る（観光宿泊施設などのサイクリスト支援情報の発信等）。	観光協会	サイクルショップ、観光・宿泊施設など関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 8
		【再掲】ASAサイクリングおもてなしスポットの登録 ※ASA：AWA/SANUKI/AWAJI	・サイクリストの休憩場所や自転車の修理場所である「おもてなしスポット」を設置する。	南あわじ市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市、東かがわ市	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	観光施設以外にも「おもてなしスポット」を増やせるよう広報をしていく。（現在29スポット登録）			B 8
		【再掲】シンボルイベントの開催	・他地域のサイクリングイベントとの連携も視野に入れたシンボルイベント（淡路島ロングライド150）を開催する。	淡路島ロングライド150実行委員会	県、3市、くにうみ協会、観光協会、関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	淡路県民局（総務企画室）	淡路島一周150kmのサイクリングコース（通称「アワイチ」）を自転車で走る「淡路島ロングライド150」を今秋と来春の2回開催する。		○	A 1 0
		【再掲】鳴門・南あわじサイクリスト向けイベントの開催	・大鳴門橋自転車道開通に向けて南あわじ市と鳴門市で連携したイベントを実施する。	南あわじ市、鳴門市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市民間事業者	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	鳴門市と連携して、サイクリングに関するイベントを実施する。			A 1 0 B 3
		【再掲】ボタリングツアー実施	・レンタサイクルと飲食・観光施設と連携させたボタリングツアーの造成・販売を実施する。	観光協会	サイクルショップ、観光・宿泊施設など関係事業者	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	レンタサイクリング事業者に、飲食・観光施設と連携したボタリングツアーの造成を働きかける。			B 3

推進戦略3（アメニティ戦略）：「快適に過ごせる観光地」をめざし、円滑な移動や快適な滞在を実現する受入環境整備を推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S ー D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
〇万博を契機とした動きと連携し、大阪湾の船便運行に向けた取組との連携及び島内との交通ネットワークづくりの検討【海】		兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化推進協議会企画委員会淡路ワーキングとの連携	・万博が開催される2025年を見据え、短期に効果を発揮する交流や誘客を活性化するプロジェクトを優先的に検討する。 ・淡路島総合観光戦略推進の観点から協議会のワーキングに参画する。 ・同じ方向性をめざし、同協議会のとりまとめるプロジェクトと淡路島総合観光戦略のアクションプランの取り組みを進めることにより、大阪湾のベイエリアの活性化を図る。	県、3市、観光協会	兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化推進協議会	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	「兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化基本方針」と同じ方向性をもってアクションプランの取組を進めるにあたり、県担当課と情報共有と意見交換を行う。			A 1 0
		関西経済同友会関西広域観光推進委員会の活動と連携	・大阪湾と淡路島をつなぐ舟運ネットワーク構築、さらに瀬戸内に繋がるクルーズ事業の拡大をテーマにワーキンググループを設定する。	観光協会	関西経済同友会 関西広域観光推進委員会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ワーキンググループ会議に参加し、情報交換・共有を行う			A 1 0
		島外からの海上交通と島内交通のネットワークづくりの推進	・施策推進に向けた活動へ参画する（大阪湾舟運事業や主要各港と島内港を航行する実証実験の協力、検討会に参画）。 ・島内上陸後の二次交通を整理する。	観光協会	県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	同上 カーシェアリングの導入を働きかけるほか、二次交通課題の解決と含めて検討			B 8
		観光要素の少ない大阪湾の目玉としての友ヶ島と連携した観光コンテンツ化	・要塞・砲台跡として、アニメで既に注目されている友ヶ島を、淡路島と絡めたコンテンツとして有効活用するための条件整備を進める。	観光協会	関西経済同友会 関西広域観光推進委員会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	造成したクルーザーを活用した着地型コンテンツを観光協会HPで継続してオンライン販売する。			A 1 0
		ホテル等が所有するクルーザーを利用した日帰りオプション商品の造成と販売	・洲本発着で、①岩屋②沼島③友ヶ島④和歌山マリーナシティ等を巡る商品を開発して、システム登録、観光協会HP、宿泊施設HPにて販売する。	観光協会	宿泊事業者、関西経済同友会 関西広域観光推進委員会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	同上			A 1 0
〇多言語化、AIを活用した観光案内などの地域としての受入環境整備の推進（官民の連携等による）		淡路人形浄瑠璃観光客受入環境向上支援事業	・外国人観光客向け字幕作成やキャッシュレス決済対応機器の購入等、観光客の受入環境の向上に向けた取組に対する補助を実施する。	県	淡路人形座運営者	実施	実施	実施	実施	実施	県民課（文化）	観光客が淡路人形浄瑠璃に対する理解を深めるため、英訳イヤホンガイドなど、観光客の受入環境の向上に取り組む淡路人形座運営者に対して補助する。			B 8
		AI導入による観光案内の効率化とサービス向上	・サービス向上と効率化を目的とした、AI活用による案内業務（多言語対応含む）や島内の主要な交通拠点等にAIサイネージの導入等を実施する。	観光協会	3市、船舶事業者（明石案内所）	検討	実施	実施	実施	実施	観光協会	AIサイネージ導入等に向け、先行導入の淡路市や関係事業者等から情報収集を行い、導入について検討			B 8
		デジタル技術を活用したアバター観光案内の効率化とサービス向上	・関西国際空港及び淡路ハイウェイオアシスの2地点において、デジタル技術を活用した淡路市マスコットキャラクターのアバターによるきめ細やかな案内業務（多言語対応含む）を行いつつ、地域における観光人材の確保を図る。	淡路市	淡路市	検討	実施	実施	実施	未定	淡路市	アバターサービスというデジタル技術を活用し、多言語対応を含む、きめ細かな観光案内を島内外で展開する。			B 8
		多言語対応等インバウンド推進体制の整備	・多言語及び手話タブレットを島内観光案内所に配備する。併せて、観光協会から宿泊施設に対しタブレット等の導入を働きかけるとともに、各施設HPでのバリアフリー情報や外国語対応などを促す。	観光協会	県、3市、くにうみ協会、宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	事業者やインバウンドの要望や期待に対応できるよう、現状把握し対応していく			B 8
		【再掲】外国人ワーキングスキルアップの実施	・外国人日本語スキルアップ研修（又は勉強素材製作）を実施する。	南あわじ市、淡路市	商工団体	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市、淡路市	南あわじ市：市内の在住外国人労働者等に対し、ネットワークイベントを実施予定。 淡路市：市内在住外国人に対し、ボランティア講師による日本語教室を年間を通じて開催する。			B 2
			・淡路在住のワーキングスタッフからのヒアリングなどを踏まえたうえで日本語スキルアップの教材を製作する。	観光協会	南あわじ市、淡路市	協議	実施	実施	実施	実施	観光協会	外国人ワーカーの日本語スキルアップ用教材製作の手がかりを得るため、淡路在住の外国人ワーキングスタッフに対してヒアリングを行い、教材制作の参考とする。			B 2
〇心地よい滞在を支援するユニバーサルツーリズムの推進（機運醸成、人材育成、サービスの見直し、環境整備（例：車いす利用者が波打ち際まで行ける環境の整備など））		ユニバーサルツーリズム普及啓発推進事業	・兵庫県等主催の「UTコンシェルジュ育成プログラム」への参加や、「UTおもてなし研修」の淡路地域での継続開催を要望する。	県、ひょうご観光本部、芸術文化観光専門職大学	3市、観光協会、観光・宿泊施設など関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	島内の宿泊施設について、「ユニバーサルなお宿」宣言・登録制度を積極的に促進していく。			B 8
		【再掲】高齢者やこどもの体調や症状に細やかに対応した食事提供	・細やかに対応した食事内容を宿泊施設HPにて予約販売する具体的な手法を確立し、島内宿泊施設に実装する。	観光協会	宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	具体的手法を確立できるよう専門家に相談			B 8
		ユニバーサルツーリズム情報の発信	・宿泊・観光・飲食施設等のバリアフリー情報を、「県市公共施設バリアフリー情報」、観光協会・県・3市・各施設のHPで発信する。	県、3市	観光協会、商工団体、青年会議所、関連事業者	調査	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	県公式観光サイト（HYOGO！ナビ）において、宣言施設・登録施設の取組内容を発信			B 8

推進戦略3（アメニティ戦略）：「快適に過ごせる観光地」をめざし、円滑な移動や快適な滞在を実現する受入環境整備を推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要		重要な取組	
	○景観の再構築など観光客目線での提言を行う	淡路島旅行者へのおもてなし向上	・淡路島の玄関口（北・中・南）に観光客おもてなし看板の設置（北部は入替）要望や島内観光案内看板の統一を図る。	観光協会	国、県、3市、本四高速	要望	実施	実施	実施	実施	観光協会	AWAJI島博を機に看板設置した実績のある箇所（淡路インター付近跨道橋、洲本IC出口交差点、道の駅福良前）を中心に、おもてなしの看板設置を管理者に提案する	○		B 8
		観光地魅力アップへの取組	・淡路島の玄関口（各インター出入口周辺、岩屋・福良・洲本港、主要バス停など）の環境整備（雑草対策、老朽化ベンチの入替など）やあわじ花トイレの改修・美化清掃を施設管理者に要望する。 ・淡路島の景観に調和し、夏は木陰をつくり、電線を目隠しするような街路樹の剪定・樹形づくりを推進する。	観光協会	国、県、3市、本四高速	要望	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ	○		B 8
		観光地の環境美化	・観光地におけるゴミの撲滅を推進するとともにゴミの持ち帰り協力看板等を設置する。	3市	県	実施	実施	実施	実施	実施	3市 商工観光課	洲本市：主要観光施設において、ゴミ箱を設置しないことによる、ゴミの持ち込みを抑制するとともに、快適な観光環境を維持するため、常時清掃活動を実施していく。また、市民等が参加する全島一斉清掃や3海峡クリーンアップ大作戦、ボランティア清掃活動に協力し、観光地における環境美化に努める。 南あわじ市：3海峡クリーンアップ大作戦等清掃活動の実施を継続する。 淡路市：淡路市の取組みとして、ごみの減量化のPRを各所で実施する。			B 4 D 3
	○ワーケーション需要の取り込みと受入環境の整備促進	ワーケーション情報発信の充実	・淡路島内のワーケーション施設情報を集約し、次のサイトへ情報提供する（参考：ひょうごでワーケーション）。 ・専用サイトを観光協会サイトに作成し発信する。	観光協会	ひょうごワーケーションサイト運営者、関連企業	実施 又は 要望	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			A 1 0
		コワーキングスペースの充実	・各宿泊施設やパブリックスペース等でのコワーキングスペースの充実を図る。 （施策例） 施設改修の補助金等の創設・紹介 空き家、空き店舗等の情報の共有→事業者への紹介（施設改修の補助金等とセットしたPR）	観光協会	宿泊施設、県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 8
		地域の人々とのふれあいの場の仕組み作り	・ワーケーションの充実と長期化のために必要な、地域の人々とのふれあいの場を容易に作ることのできる仕組みづくりを実施する。	観光協会	関連企業、団体	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 3
		受入環境整備にかかる補助金等支援	・国の補助金等の獲得または情報発信による支援を実施する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	国の補助金等の情報を収集し、関係事業者への周知を行い、観光協会が申請者となるものは申請を行い補助金の獲得に努める。			B 8

推進戦略 4（情報戦略）：「相互理解のできる観光地」をめざし、「淡路島総合観光戦略」を島内外の各種セクターと情報共有、連携

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	－ D 項目
◆島内の観光関連企業等との情報共有、相互理解の促進 ◆圏域内大型イベント事務局や広域連携DMO等との情報共有と連携 ◆島内の観光関連以外の事業者との情報共有、相互理解の促進 ◆上記活動と連動し、交流人口および、関係人口の増加に資する連携の企画	○島内の企業が互いに情報共有、情報交換の実施	島外進出企業との情報交換会の開催	・島外からの進出企業に「淡路島総合観光戦略」を基軸とした定期的な意見交換を開催する。双方の戦略・事業計画を情報交換し、淡路島観光戦略に沿った、より効率的で相乗効果の高いアクションプランを策定して実施する。	観光協会	島外進出企業、商工団体、県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	パソナやバルコバービ等の島外進出企業と意見交換を行う機会を設け、意見を観光戦略に反映させる。	○		A 6
			・宿泊特化型ホテルを拠点に、地域から提供される“食”“体験”“交通”の3要素について、地元企業や行政、団体等との連携を深める取組を実施する。	県、南あわじ市、淡路市	島外進出企業、商工団体、観光協会等	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	ホテルと飲食店が情報共有できる仕組みづくりの推進に取り組む。またホテル側への誘客につながる地域情報の提供を継続する。	○		A 6
		島全体のブランド価値を考慮したバランスのよいプロモーションの要請	・島全体の魅力の宣伝イメージを具現化し共有したうえで島全体の魅力を共に宣伝し、島自体の観光ブランド価値を上げ、より多くの効果を発揮する。	観光協会	島外進出企業	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「暮らすように旅する島」をはじめ淡路島の魅力を発信するプロモーション動画を作成し、淡路島観光協会ＨＰや観光客の目に触れる箇所で放映する			A 1 0
	○大型イベント事務局、広域連携DMOとの情報共有及び連携（大阪湾、瀬戸内海、四国）	せとうち観光推進機構（せとうちDMO）等との連携推進	・せとうちDMOや瀬戸内芸術祭事務局とも情報共有・交換を行い連携事業を実施する。	観光協会	県、ひょうご観光本部	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	引き続き、商談会参加、FAMトリップ受入など連携を深めていくとともに、瀬戸内ゴールデンルートの開発に向けた研究を実施			A 1 0
	○島内事業者（観光以外事業者含）向け、観光戦略共有セミナーの開催	淡路島総合観光戦略説明会の開催	・県・3市職員、市議会議員、観光協会会員、商工会議所・商工会会員、青年会議所構成員などへ淡路島総合観光戦略説明会を実施し、戦略が円滑に推進できるよう協力を依頼する。	県、3市、観光協会	商工会議所、商工会、青年会議所	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	要請があればもちろんのこと、島内業界団体や地域団体会合などあらゆる機会・時間を捉え、「淡路島観光戦略」の啓蒙・理解をいただく			A 6
	○関係人口増加施策等と連携した交流促進策の実施（大学の研究活動との連携等）	来島していない関係人口から来島する交流人口に移行するための効率的な手法の検討	・関係人口の人々に都市部と多自然地域とのマッチングなどを切り口とした直接アプローチを実施し、「淡路島に行く」というアクションを起こすための、背中を押す具体的な施策を検討・実施する。	観光協会	県、3市、企業、町内会等地域団体、ひょうご関係人口案内所	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 4
		【再掲】地域×大学×企業の「ひょうご絆プロジェクト」	・地域と大学や企業が連携し、大学・企業の持つ資源の活用や学生等の外部人材との交流により誘客につながるにぎわいづくり等の活性化を促進する。	県	3市、大学、企業、町内会等地域団体	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（多自然地域づくり）	地域と大学・企業等が連携して取り組む、にぎわいづくり等の地域活性化活動に要する経費を支援する。			B 4
		島内参入大学生との意見交換会の実施	・島内各地で活動する大学生（大学）の活動内容を把握し、観光振興施策と連携可能な大学と意見交換会を実施する。	観光協会	県、3市、大学、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 3

推進体制と検証体制の確立

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2026年度の取組			J S T S － D 項目
						23	24	25	26	27		計画概要	重要な取組	主な取組	
◆日本版DMO登録法人である淡路島観光協会を中心に、県、市、関係団体等もそれぞれ実施主体となって相互に協力して推進する ◆淡路島観光協会のDMO機能（デスティネーションマネジメント/デスティネーションマーケティング機能）の更なる強化を図る ◆淡路県民局、洲本市、南あわじ市、淡路市及び淡路島観光協会で構成する「淡路島観光戦略会議」が、観光戦略の重要な取組の方向付けや検証を行う ◆「淡路島観光戦略会議」の構成団体自身の取組に加えて、民間企業・団体の取組や大型イベント実施主体、広域連携団体等の取組に関する情報収集に努め、連携して観光戦略を推進する ◆日本版持続可能な観光ガイドライン（ J S T S－ D ）の考え方や基準を取り入れつつ取組の推進を図る	観光協会ツアーの実施（自主財源確保対策）	・自主財源確保に向けて、観光協会企画募集型ツアーを企画・造成・販売する。	観光協会	会員施設、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	淡路島観光協会ツーリストとして、募集型企画旅行を企画・造成し、観光協会ＨＰで販売する。		○	A 1 0	
		・AWAJI島博を機に販売する「AWAJISHIMA観光スマートパスポート」を、島博終了後も販売する。	観光協会	関連事業者				実施	実施	実施	観光協会	・「AWAJISHIMA観光スマートパスポート」の継続販売 【利用期間】 2026/4/1～（調整中） 【利用施設】 約30施設（島内他）（予定） 【販売金額】チケット種類及び金額を算定中		○	A 1 0
	観光戦略推進人材、財源確保に向けた協議	・観光戦略を推進するため、必要な組織体制・人材（民間企業からの出向、又は観光協会直接雇用）と財源の確保について協議する。	県、3市、観光協会	関連事業者、団体	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	観光戦略を効率的・効果的に推進するため、淡路島観光戦略会議等において、必要な組織体制・人材と財源の確保について検討していく。				A 2
	淡路島観光客満足度調査、消費単価、域内調達率等の調査	・登録DMOとして収集分析が必要な「来訪者のリピーター率」及び「観光客満足度」をインターネットによるアンケート調査を実施する。 ・満足度調査に合わせて、消費単価についての設問を追加し、調査を実施する。 ・域内調達率については、1泊2食のサービスを提供する宿泊施設の食材調達の状況の調査を実施する。 ・観光に対する住民理解度については、県民意識調査（淡路地域分）の中で把握する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ				A 3 A 7 A 9 B 1
	JSTS-Dの理解・推進	・JSTS-Dに準じたサステイナブルツーリズムセミナーを開催し、島内観光業界関連行政・団体・事業者の理解推進を図る。	県、3市、観光協会	関連事業者、団体	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ				A 6
【再掲】JSTS-Dのガイドラインを活用した評価指標の設定と推進	・先行事例の取組調査を行ったうえで、淡路島総合観光戦略とJSTS-Dのガイドラインが合致する項目を抽出する。 ・現状分析とあわせて、推進状況を自己分析するツールとしてJSTS-Dを活用する。	観光協会、県、3市	観光協会会員	準備	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	JSTS-Dのうちから淡路島総合観光戦略の推進に喫緊なガイドライン項目を抽出した項目をアクションプランごとに対応させ、取組の評価を行い、次年度の施策の立案に活用する。また、自己評価について、より客観性を持たせる方針・基準を検討する。	○			A 1	